

第3次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況（令和5年度）

1 取組状況について

全20項目の事業について、令和5年度の取組実績（見込）をもとに、各事業における成果指標の目標値（令和7年度）に対する進捗状況を評価した。

2 「成果指標」の進捗評価結果（概要）

令和5年度においても新型コロナウイルス感染症の影響を受け、十分な成果につながらなかった取組みもある。

一方で、新型コロナウイルス感染症の5類移行に合わせ、事業の再開・拡大に至った取組もあり、「A：順調」となった事業が昨年度より2件増加した。

なお、コロナ禍など外的要因を大きく受けた場合で、代替案等の検討も困難であった事業については、「—：評価できず」とすることとした。

政策分野	取組 事業数	進捗評価			
		A：順調	B：概ね順調	C：要改善	—：評価できず
1 生活機能の強化に係る政策分野	11	3	7	0	1
医療	1		1		
福祉	1		1		
教育	1	1			
産業振興	6	2	4		
環境衛生	1		1		
その他	1				1
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	5	3	1	0	1
道路等の交通インフラの整備	1	1			
地域内外の住民との交流・移住促進	3	1	1		1
その他	1	1			
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	4	1	2	1	0
宣言中心市等における人材の育成	1		1		
宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	1			1	
その他	2	1	1		
合計	20	7 (35%)	10 (50%)	1 (5%)	2 (10%)

※（％）は、全体のうち、A、B、C、—と評価された事業の割合

3 連携する具体的な取組事業の実績について

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

■ 医療

① 地域医療の連携（1市2町）

事業名	徳島市民病院との連携強化事業				
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町				
取組内容	徳島市民病院を核とした圏域内の自治体病院との医療連携の構築を図るとともに、地域医療向上のため、地域の医療従事者に対する教育と研修に努める。				
成果指標	連携施設から徳島市民病院への紹介患者数（年間）				
	当初値(令和元年度)	7人	目標値(令和7年度)	15人	
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6
		5人	11人	8人	
進捗状況	合同研修会は、勝浦病院において令和6年2月28日（水）に開催した。紹介患者数については、連携施設において他の病院への紹介が必要となった患者のうち、病状その他の理由により、徳島市民病院への紹介が少なかったことが原因と思われる。				進捗評価
					B
今後の方向性	連携施設に対し、急性期病院としての徳島市民病院の取り組みをさらにアピールしていく。				

【令和5年度の取組実績】

○徳島市民病院において、連携施設からの紹介患者に対する医療の提供・がん患者の積極的な受け入れを行った。

【患者数】8人（勝浦病院5人、上勝診療所3人）※令和5年12月末時点

■ 福祉

② 子育て環境の充実（全市町村）

事業名	病児保育事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、連携市町村が実施する病児保育事業について、病児・病後児（概ね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）の広域利用を可能にする。					
成果指標	病児保育利用延べ人数（年間）					
	当初値(令和元年度)	7,798人	目標値(令和7年度)		10,029人	
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6	R7
		5,729人	4,612人	6,505人		
進捗状況	新型コロナウイルス感染症が第5類に指定されたことにより利用者は昨年度より増加傾向にある。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	病児保育実施施設や広域利用に対応した自治体と連携を取りながら適切な運営に努める。					

【令和5年度の実績】

○病児保育事業の広域利用を、徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町の全市町村で実施した。

◎広域利用可能施設

- ・ふじおか小児クリニック（徳島市）
 - ・愛育小児科（徳島市）
 - ・ひなたクリニック（徳島市）
 - ・徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院（小松島市）
 - ・伊勢内科小児科（石井町）
 - ・富本小児科内科（藍住町）
 - ・田山チャイルドクリニック（徳島市）
 - ・えもとこどもクリニック（徳島市）
 - ・末広ひなたクリニック（徳島市）
 - ・北島こどもクリニック（北島町）
- （順不同）

○広報用リーフレットを15,000部作成し、市立・私立保育所及び委託医療機関等で配布したほか、各市町村において転入者にも配布した。

○広報紙や各市町村ホームページ等の広報媒体を活用し、引き続き広域化を周知した。

■ 教育

③ 公共施設の広域利用（2市3町）

事業名	圏域内図書館相互利用事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・北島町・藍住町					
取組内容	連携市町村の個人利用に限定した「利用者カード」を発行し、連携市町村立図書館の相互利用を実施する。					
成果指標	相互利用登録者数（累計）					
	当初値(令和元年度)	3,083人	目標値(令和7年度)		4,500人	
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6	R7
		3,734人	4,165人	4,683人		
進捗状況	令和5年1月から新たに小松島市（小松島市立図書館）を加えた新体制で、順調に実績を上げることができた。				進捗評価	
					A	
今後の方向性	取組を着実に続けていくことにより、安定した実績を残していく。					

【令和5年度の実績】

○徳島市立図書館、小松島市立図書館、北島町立図書館及び藍住町立図書館の相互利用を実施した。

○図書館相互利用状況・居住地別新規登録者数（令和5年12月末現在）

	新規登録者 (人)	居住地別				
		徳島市民	小松島市民	北島町民	藍住町民	石井町民
徳島市立図書館	138	—	37	24	41	36
小松島市立図書館	45	45	—	0	0	0
北島町立図書館	126	85	3	—	36	2
藍住町立図書館	82	50	2	15	—	15
合計	391	180	42	39	77	53

■ 産業振興

④ 圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致（全市町村）

事業名	観光開発・観光誘致事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、さまざまな観光資源を発掘して魅力向上を図ることで圏域での観光エリアを形成し、宿泊、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光を実施するとともに、観光資源やイベント等の情報発信・PRを一体的に行い、関連産業の拡大や観光消費の活性化を図り、圏域内外での交流人口を拡大する。				
成果指標	連携市町村観光客入り込み数（年間・暦年） ※集計方法を徳島市独自の方法から徳島県の方法に変更した。				
	当初値(令和元年)	8,988千人	目標値(令和7年)		10,000千人
	実績(暦年)	R3	R4	R5(見込)	R6
	5,405千人	6,719千人	8,000千人		
進捗状況	新型コロナの感染症法上の5類移行にともない、観光産業は徐々に回復に向かってきているものの、本格的な回復にはまだしばらく時間を要し、特にインバウンドは、地方都市までその効果は完全には波及していないことから、指標の達成には至らなかった。				進捗評価 B
今後の方向性	<p>徳島東部DMOを中心に、次の取組みを進め、圏域への誘客を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様化する旅行ニーズに対応し、インバウンドの取り込みを期待できる、アドベンチャーツーリズム（AT）とサステナブルツアー（ST）に焦点をあてた取組みを強化し、滞在型・通年型の観光地への転換を図る。 観光における面的DMXを推進し、ストレスフリーな手ぶら観光の提供、来訪者へのプッシュ型による観光情報・サービスの提供による地域一体となったCRMの推進、客観的な旅行者データに基づく効果的な観光施策を展開していく。 大阪・関西万博にあわせて、関西と徳島東部を結ぶ広域周遊観光ルートの整備や関西方面での集中的なプロモーションにより、効果を圏域に波及させていく。とくしま動物園リニューアル事業を継続し、魅力アップを図る。 				
<p>【令和5年度の取組実績】</p> <p>○徳島東部地域DMOを中心とした観光地域づくりの推進</p> <p>◇マーケティングリサーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置情報ビッグデータによる観光動態調査、来訪者への観光アンケート調査、地域住民への満足度調査の実施 <p>◇情報発信&プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSを活用したデジタルプロモーション 遍路、阿波藍、阿波おどり等の徳島文化を題材にしたインバウンド誘客に係る旅行会社・メディア向けファミツアーの実施（台湾やフランスなどの海外旅行会社・メディアに対し5回実施） 					

・オフシーズンの冬の徳島の認知度向上と圏域の周遊性向上のための国内旅行会社向けファミツアーの実施（1回実施）

◇観光客受入環境の整備

- ・観光アプリによるシームレスな観光サービスの提供や、アプリから得られる旅行者の各種情報によるデジタルマーケティングを行うための地域一体となった面的DX化の推進
- ・地域経済に裨益する宿泊施設を核とする「観光の地域計画」の策定と面的な再生・高付加価値化に係る施設整備の促進

◇セールス活動

- ・9月：世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPO ジャパン大阪・関西」
- ・10月～2月：東京・大阪の大都市で開催される商談会等
- ・9月～2月：インバンド誘客のファミ・メディアツアーのコーディネートによる

○とくしま動物園リニューアル事業

- ・圏域の観光資源の1つである動物園の魅力向上のため、リニューアル事業に取り組んだ。
- ・圏域内市町村の成人式に「徳島東部地域定住自立圏無料招待券」を配布（2,981人）し、来園を促した。
- ・動物園センター内に圏域内市町村の観光パンフレットを設置し、来園者に配布した。

○連携市町村が実施した主な取組

◇勝浦町

- ・ビッグひな祭りの開催
令和6年2月24日から第36回元祖阿波勝浦ビッグひな祭りを開催、期間中の集客数は18,000人の見込み。
- ・グリーンツーリズムについて
あかりの里を実施し、おひな巡りも実施予定。ほかにも各種体験コンテンツを実施。
- ・道の駅ひなの里かつうらについて
令和5年度の道の駅のレジ通過客数は、10,000人を超える見込み。

◇上勝町

- ・「ゼロ・ウェイストチャンネル動画施策」
運営体制の変更が予想され、当初予定の動画制作を保留。2月実施予定のゼロ・ウェイスト宣言自治体会議に関する記録映像について1本施策見込み。
登録者数：5,720人、投稿動画数：28本
- ・「ゼロ・ウェイストの情報発信ポータルサイト」
コンテンツの充実をはかりつつ、国内外に向けた情報発信を継続的に行っている。
ゼロ・ウェイストに関心のある層の来町を促進し、交流人口の拡大につながっている。

◇佐那河内村

- ・ふれあいまつり執行補助金
令和6年2月4日に開催し、農林産物展示・農林産物即売・文化作品展などを実施し交流人口の拡大につなぐ。
- ・東部地域特産品PR事業
大川原ヒルトップハウス内に特産品販売所及び観光案内所を設け、村内産の野菜手工芸品などの販売と同時に、圏域内を含めた観光案内を行い、東部地域の観光PRを推進。

- ・ふるさとづくり納涼夏祭り補助金

令和5年8月13日に実施。圏域内外問わず1,300人以上が訪れた。村内外の団体によるステージや打ち上げ花火の実施した。

- ・さなごうち大川原高原ヒルクライム2023

令和5年11月19日(日)に開催。競技用自転車で大川原高原までをヒルクライムする自転車大会で171人が参加。参加者に村の良さを知ってもらう機会となった。

◇石井町

- ・納涼夏祭り補助金

飯尾川公園で石井町納涼夏祭りを開催し、新たなにぎわいの創出を図った。

- ・商工会運営事業補助金

桜まつり・藤まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止予防のため、イベントのみ中止として、町内外の方に魅力発信した。

- ・ウインターイルミネーション

12月中旬から1月上旬に開催。四銀いしいドーム改修工事中のため点灯式イベントは中止し、観光客の誘致及びにぎわいの創出を図った。

- ・ふじっこちゃんPR事業(観光費一般諸費)

石井町イメージキャラクター「ふじっこちゃん」グッズを作成。

- ・ふじっこちゃん宝くじ141事業

町内参加店にて景品があたる抽選を配布し、町内での消費需要拡大を促した。

◇北島町

- ・北島チューリップ公園の運営・チューリップフェアの開催

春のメインイベント「チューリップフェア」を北島チューリップ公園で開催し、連携市町村の観光地との連携による観光客の誘致を図った。(令和5年4月に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模を縮小して開催)

- ・花づくり稼働事業

休耕田を持つ希望者に花の種を配布し、植えてもらうことで景観美化に努めている。

⑤ 地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進（全市町村）

事業名	特産品ブランド化・地産地消推進事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	農林水産物加工品等の圏域外に向けた販売やPRを推進するとともに、「とくしまIPPIN店」認定店の圏域内拡大、圏域内の関係団体との交流などについて、圏域全体で連携して取り組む。					
成果指標	とくしまIPPIN店認定数					
	当初値(令和2年度)	161店	目標値(令和7年度)	180店		
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6	R7
		170店	154店	152店		
進捗状況	HPで広報活動を行っていたが、新規認定店舗はなく、2店舗閉店の報告があった。				進捗評価 B	
今後の方向性	新たにSNSを活用した広報活動を行い、地産地消の推進を図る。					

【令和5年度の取組実績】

○地産地消推進事業

- ・連携市町村において「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大を継続するとともに、各種広報媒体によるPR活動を積極的に行うことで、地産地消の推進を図った。
- ・「とくしまIPPIN店」において、地元産食材を使用した料理、加工品等を消費者に直接味わってもらうことで、消費拡大につなげた。

○連携市町村が実施した主な取組

圏域の各市町村が農水産物のブランド力向上のための取組を行ったほか、販売促進のための取組を実施し、圏域内での地産地消を推進した。

- ・町みかん販売生産販売協議会負担金（勝浦町）
協議会事業ラジオCMを利用して、勝浦みかんのPRをおこなった。
- ・「阿波かつうら」及び「勝浦熟成みかん」の認知向上（勝浦町）
令和2年度から関西方面を中心に広報活動を実施。今年度は横浜市場を中心に活動を行う。JR横浜駅構内等にデジタルサイネージ広告を出し、横浜市の量販店で販売ブースを展開。
- ・「熟成みかん」の海外輸出（勝浦町）
アジア向け輸出について県と連携。令和6年2月香港（イオン・無印等）へ輸出見込み。
- ・農業祭事業（石井町）
石井町農産物品評会を開催し、町内の生産物を出品し競い励まし合うほか即売会も行った。
- ・産地直売市の開催（藍住町）
「正法寺川クラフト&マーケット（約5,000人来場）」、「あいずみスマイリーマルシェ（約7,000人来場）」、「商工藍ラブフェスティバル（約2,000人来場）」などのイベントにおいて産地直売市を開催し、旬の野菜の対面販売を行った。圏域内からの来場者への対面販売により消費者ニーズの把握、町産野菜をPRし、地産地消を推進した。

⑥ 地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成（2市5町）

事業名	コミュニティビジネス起業支援事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町					
取組内容	地域産業の活性化を図るため、コミュニティビジネスの普及啓発、コミュニティビジネスに対する起業支援や経営支援等の検討、圏域内連携による起業情報提供（ホームページ等）を行う。					
成果指標	コミュニティビジネスセミナー参加者数（年間）					
	当初値(令和2年度)	8人		目標値(令和7年度)	20人	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6	R7
		14人	11人	20人		
進捗状況	順調に進捗している。				進捗評価	
					A	
今後の方向性	コミュニティビジネスで起業・創業する人の知識取得や人的交流などの支援を行っていききたい。					

【令和5年度の取組実績】

○地域の課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスに関心のある方を対象に、創業セミナーを開催（連続4回）した。また、セミナー時に、起業に関する相談等創業支援事業者間の連携体制を周知した。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、定員20人（前年度は11人）に増やして開催した。

【セミナーの内容】

- 第1回 10月5日：思いの種を見つけよう！
- 第2回 10月12日：思いの種をまこう！
- 第3回 10月19日：思いの種を芽吹かせよう！
- 第4回 10月26日：思いに花を咲かせよう！



セミナーちらし

⑦ 圏域内への企業誘致の推進（2市4町）

事業名	企業誘致活動推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・板野町				
取組内容	効果的な企業誘致活動ができるよう、徳島県や地元企業とのネットワークを新たに構築し、活用するとともに、新たに立地を求める企業が情報収集し易い環境整備を図るため、企業目線で連携市町のホームページを整備し、利便性・満足度の向上を図る。				
成果指標	誘致した企業数（累計）				
	当初値(令和2年度)	58社	目標値(令和7年度)	88社	
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6
		1社	10社	16社	
進捗状況	工場については、産業団地の完売等による用地不足のため、新規の誘致（建設）が難しくなっている。貸しオフィスを活用した情報通信関連事業等の誘致に努める。				進捗評価 B
今後の方向性	より一層の企業誘致制度の周知を図り、誘致企業の増加に努める。				
<p>【令和5年度の取組実績】</p> <p>○各自治体の企業誘致ホームページの相互リンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自治体の企業誘致ホームページを相互リンクすることで、立地候補地の情報収集を行う企業に対し、各市町村単位だけでなく圏域としてもアピールを行い、より効果的な企業誘致活動につなげた。 					

⑧ 中心市街地の都市機能の充実（全市町村）

事業名	中心市街地都市機能整備事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	中心市街地のにぎわいや回遊性等を高めるため、徳島市の成長戦略の柱である「地域産業の拡大」「都市中心部の魅力の向上」「定住人口の維持拡大」に関連するさまざまな事業を実施し、観光・産業の振興を主とした都市機能の強化を図ることで、人々がいつも訪れ、居住者が増え、新たな雇用を生み出していく中心市街地づくりを推進する。				
成果指標	中心市街地が便利で活気にあふれていると感じる市民の割合 (中心市街地に活気が戻ってきたと感じる市民の割合：徳島市市民満足度調査)				
	当初値(令和2年度)	7.8%	目標値(令和7年度)	12.0%	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
		6.2%	8.6%	9.5%	

進捗状況	各事業については概ね順調に進捗している。	進捗評価
		B
今後の方向性	水辺空間を生かしたコンテンツをさらに充実させることで、「水都・徳島」のイメージアップを図り、市民の愛着や誇りの向上と県外からの注目度を高める。 新たな「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に基づき、ひょうたん島川の駅ネットワークがまちの活性化につながるよう、事業を検討・実施していく。	
<p>【令和5年度の取組実績】</p> <p>○LED 景観整備事業 新町川に架かる両国橋・新町橋・ふれあい橋等のLED 景観整備作品の保守点検を行った。</p> <p>○ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん島川の駅ネットワーク構想の見直し 令和4年度から開催の市民会議やパブリックコメントの実施を経て、令和5年6月、新たな「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」を策定した。 ・本市中心部（両国）と徳島ベイエリア（県庁前、万代、南末広、マリンピア沖洲）を結ぶルートでの、毎月末日曜日（午前10時から午後3時まで）の周遊船の定期運航や、小学校（2校）と連携した周遊船を利用した社会見学等を実施した。 <p>○新ホール整備事業 県市協調による新ホール整備に関する役割分担等を定めた基本協定に基づき、周辺インフラ整備を進めた。</p>		

⑨ 鳥獣害対策の推進（2市6町1村）

事業名	鳥獣害対策推進事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内の市町村、地区猟友会、農協など関係団体での情報共有を図るとともに、圏域内市町村が連携して広域的に鳥獣害対策を推進する。					
成果指標	鳥獣侵入防止柵の設置延長（R3～R7 累計）					
	当初値(令和元年度)	29,004m (H28-R2 累計)		目標値(令和7年度)	15,000m	
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6	R7
		3,274m	6,852m	8,852m		

進捗状況	想定した目標をわずかに上回る成果があり、被害防止の効果が期待できる。	進捗評価 A
今後の方向性	引き続き、有害鳥獣侵入防止柵の設置を進め被害防止に努めていく。	
<p>【令和5年度の取組実績（見込み）】</p> <p>○有害鳥獣侵入防止柵設置 3地区 延長2,000m（見込み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣による農地侵入を防ぐため侵入防止柵を設置し、直接的な食害、掘り起し等を防止し、農作物被害軽減を図った。 <p>○圏域市町村との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンザルSKT群関係市町村である佐那河内村及び神山町、県農林水産総合技術支援センターとニホンザルの動向についての情報交換を行い、ニホンザル捕獲による群れの個体数減少につながられた。 <p>○連携市町村が実施した主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猟友会と連携（勝浦町） 猟友会との連携により町内の有害鳥獣の捕獲を推進。また、町の有害鳥獣対策協議会事業にて国の交付金を利用し、鳥獣被害防止用柵の整備を行った。整備数量：3,329m ・有害鳥獣の捕獲推進（上勝町） 町の捕獲許可を得た狩猟者に対し捕獲報奨金を出すことで有害鳥獣の捕獲を促進し、捕獲頭数が高い推移で維持出来たことで、被害の軽減を図ることができた。 ・鳥獣害対策報償金の支給・有害鳥獣捕獲事業の実施（佐那河内村） ・鳥獣対策事業（石井町） 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策を実施し、有害鳥獣の捕獲数の増加を図った。 ・神山町農作物鳥獣害防止対策事業（神山町） 農業者が町内の園地に侵入防止柵（電気柵、ワイヤーメッシュ等）を設置する際に補助金を交付した。侵入防止柵実績：35件、延長3,831m（見込み） ・有害鳥獣の捕獲促進と被害防止対策設備に対する補助（上板町） 有害鳥獣による農林産物及び人間の生活環境への被害の防止を図るため、町の捕獲許可を得た有害鳥獣捕獲者に対し、捕獲報奨金を交付することにより有害鳥獣捕獲を促進。有害鳥獣による農業被害を防止するため、有害鳥獣被害防止対策設備を購入する者に対し、その経費の一部を補助。実績：個人2件・団体1件（令和5年12月末現在） 		

■ 環境衛生

⑩ 公共施設の広域利用（2市2町1村）

事業名	火葬場利用促進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村				
取組内容	圏域内（小松島市）において、火葬場を整備する。 運営に当たっては、広域利用の促進及びその周知を行い、住民の快適で衛生的な生活環境の確保を図る。				
成果指標	連携市町村住民利用件数（年間）				
	当初値(令和元年度)	161件	目標値(令和7年度)		170件
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6
		167件	185件	200件	
進捗状況	火葬場施設の備品等を設置したことにより、利用者の利便性が向上したほか、圏域住民の利用も増えており、概ね順調に取り組んでいる。				進捗評価 B
今後の方向性	施設の適正な管理運営に努めるとともに、引き続き広報媒体等により周知を行い、圏域住民の衛生的な生活環境の確保を図っていく。				
<p>【令和5年度の実績】</p> <p>○火葬場利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報及びホームページ等で周知を行っており、また葬斎場の利用者にはアンケートを記入いただきその結果に基づいた利便性の向上を図っている。 					

■ その他

⑪ 環境保全活動の推進（1市8町）

事業名	地球温暖化対策推進事業				
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して地球温暖化対策に取り組むことにより、圏域内の住民、事業者、行政が行う温暖化防止活動の取組拡大を図る。				
成果指標	こどもエコチャレンジノート配布部数（年間）				
	当初値(令和2年度)	332部	目標値(令和7年度)		1,000部
	実績(年度)	R3 359部	R4 125部	R5(見込) 110部	R6 R7
進捗状況	「こどもエコチャレンジノート」等を教材として、子どもたち（次世代）を対象に小学校等で環境教室を実施し、家庭でできる取組について一緒に考える機会を持つことができた。校長会等を通じて活用を呼び掛けたが、新型コロナ感染症の影響により、授業等での配布機会は少なかった。				進捗評価 —
今後の方向性	一人でも多くの住民に環境に対する意識を持ってもらえるよう、取組内容を見直しながらこれまでの取組を実施する。連携市町において環境学習を実施する機会が減少傾向であるため、担当者で改善等を協議する機会を持つことを検討する。				

【令和5年度の取組実績】

○ノーマイカーデー、ライトダウンの実施

（徳島市・上板町）

- ・ノーマイカーデー等に職員のマイカー通勤の抑制（公共交通機関の利用促進等）。
- ・ノーマイカーデーの徹底や昼休みの消灯、開庁時間内においても不要な照明等の消灯。

（松茂町）

- ・原則毎週水曜日にノーマイカーデーを実施。

（板野町）

- ・職員への周知を実施。

（藍住町）

- ・ノーマイカーデーを実施。（毎週火曜日、2km以内通勤の者のみ）

（北島町）

- ・昼休み・残業時等で事務室内の未使用スペースの照明は、支障のない範囲で消灯を実施。

○環境学習の実施

（徳島市・上板町）

- ・「こどもエコチャレンジノート」を活用し、小学校等において環境学習を実施。

（勝浦町）

- ・小学校2校で環境学習を実施。
- ・保健部長会を開催。

(上勝町)

- ・廃棄物に関する勉強会を実施。(5回)

(松茂町)

- ・スーパーとくしまGXスクール指定校事業(松茂小学校)を実施。
- ・とくしまGXスクール認定校事業(喜来小学校・長原小学校・松茂中学校)を実施。

(藍住町)

- ・ごみ処理施設(西クリーンステーション)の見学を実施。(小学生対象)

○エコアクション21の認証取得支援の実施

(徳島市・板野町・上板町・北島町)

- ・エコアクション21のセミナー、説明会を周知し、普及を促進。

○連携市町村が実施した主な取組

(徳島市)

- ・住宅用太陽光発電設備等補助事業

自家消費型の太陽光発電の普及を図るため、住宅用太陽光発電設備や蓄電池等の設置費用を一部助成。

(上勝町)

- ・再生可能エネルギー活用促進事業補助金(太陽光発電設備2件、薪ストーブ1件)
化石燃料の温存に努め、町内の豊富な森林資源を薪材しても活用できている。

(松茂町)

- ・住宅用太陽光発電設備設置補助事業

令和5年度中に、9戸の住宅に対して、太陽光発電設備の設置補助を実施する予定。

(北島町)

- ・住宅用太陽光発電システム等普及促進事業
クリーンエネルギー利用を推進し、地球温暖化防止を図る。
- ・電気自動車等普及促進事業
電気自動車等の普及を促進し、脱炭素社会を目指す。
- ・省エネ住宅普及促進事業
省エネルギー住宅の普及を促進し、脱炭素社会の実現を目指す。
- ・緑のカーテン事業

緑のカーテンコンテストの開催及び町施設・町民へのゴーヤ苗の配布を行うことで、夏場の空調機器使用を抑え、地球温暖化防止を図る。

(藍住町)

- ・合同庁舎再生可能エネルギー設備等導入事業

合同庁舎屋上に太陽光パネル及び蓄電池等を設置し、2階及び3階にLED照明を設備。

(上板町)

- ・緑のカーテン事業

役場庁舎・関係施設で実施し、夏場の空調機器使用を控え、地球温暖化防止を図る。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ **道路等の交通インフラの整備**

⑫ **圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携（全市町村）**

事業名	圏域道路網整備促進等事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が連携して、圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の国・県への共同要望や市町村界に係る市町村道路改良の情報交換を実施する。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(令和2年度)	1回	目標値(令和7年度)	1回	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
	1回	1回	1回		
進捗状況	計画していた情報交換を実施し、成果指標の目標を達成できている。				進捗評価
					A
今後の方向性	引き続き情報交換等を実施し、各市町村との連携を図る。				
<p>【令和5年度の取組実績】</p> <p>○市町村界に係る道路整備推進のための情報交換 ・担当者部会での情報交換を実施。（随時）</p> <p>○連携市町村が実施した主な取組 道路整備促進のための要望活動（4同盟合同）として、圏域内外を結ぶ主要幹線道路の早期整備促進について、各市町村が連携して要望活動を行った。（国交省四国地方整備局、中央省庁ほか）</p>					

■ 地域内外の住民との交流・移住促進

⑬ 文化・スポーツ交流の推進（2市5町）

事業名	ニュースポーツ用品の相互利用事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町					
取組内容	圏域内でのニュースポーツの普及・活動支援のため、圏域内の市町でニュースポーツ用品の相互利用を図る。					
成果指標	相互利用回数（年間）					
	当初値(令和元年度)		1回	目標値(令和7年度)		
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6	R7
		0回	0回	0回		
	参加者数（年間）					
	当初値(令和元年度)		40人	目標値(令和7年度)		
実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6	R7	
	0人	0人	0人			
進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実績なし。				進捗評価	
					—	
今後の方向性	連携自治体とニュースポーツ普及についての方向性を確認の上、事業を実施する。					
<p>【令和5年度の実績】 新型コロナウイルス感染症の影響により、実績なし。</p>						

⑭ 就農支援体制の連携強化（2市7町1村）

事業名	就農支援体制連携強化事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・藍住町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内外の就農希望者や意欲ある農業者に対し、農地活用情報・耕作放棄地をデータ化し、情報発信するとともに、耕作放棄地再生利用対策の取組状況の周知や新規就農希望者に対して農業体験事業を共同実施する。					
成果指標	農地中間管理機構を活用した農地貸借面積（ha）（累計）					
	当初値(令和2年度)	1.0ha	目標値(令和7年度)		20ha	
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6	R7
		2.5ha	4.4ha	6.9ha		
進捗状況	今年度も実績を積み上げ、令和7年度の目標値に向けて順調な結果となった。農地集積に向けた貸付者及び借受者のマッチングを推奨する組の成果が出ている。				進捗評価 B	
今後の方向性	今後も国や県の関連事業とともに推進することで、農地集積を図る。					

【令和5年度の実績】

○農地中間管理事業

- ・農地中間管理機構の事務（農地の貸付者及び借受者の受付・マッチング等）を行った。

○連携市町村が実施した主な取組

- ・新規就農者へ資金的な援助を実施（勝浦町）
新規就農支援事業（経営支援型）新規就農者へ資金的な援助を実施。（3年間で200万円） 実績見込み：新規1名（100万円×1回）、継続1名（50万円×1回）
- ・石井町藤の里いきがい農園事業（石井町）
遊休農地を活用し、住民に農作業の場を提供。自然の良さと物作りを楽しみ・収穫の喜びを体験することで、農耕に対する意識の高揚を図り、遊休農地を再生利用できた。

⑮ 移住・長期滞在の推進（2市3町1村）

事業名	移住・長期滞在推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・神山町				
取組内容	中心市が持つ都市機能の魅力と、近隣市町村が持つ環境や地域コミュニティなどの農山地の魅力を活用した情報発信方法の研究を行い、徳島県、とくしまふるさと回帰推進協議会及び観光関係団体等と連携して、移住及び長期滞在地としての魅力を都市圏に向け情報発信する。				
成果指標	移住者数（年間）				
	当初値(令和元年度)	346人	目標値(令和7年度)		564人
	実績(年度)	R3	R4	R5(上半期)	R6
		1,133人	1,265人	594人	
進捗状況	移住促進については、県等の関係機関と連携して取り組んでおり、移住者数も順調に取り組んでいる。				進捗評価 A
今後の方向性	移住希望者の知りたい居住・しごと等の情報を提供することで、移住を促進し、定住人口の増加を図る。				

【令和5年度の取組実績】

○関係団体との連携

- ・県及びふるさと回帰推進協議会等との連携により、情報発信を行った。

○移住支援金支給事業

- ・連携市町村において、東京圏からのU・I・Jターン促進及び地方の担い手不足対策を目的に、各市町村への移住者に対して、移住に要する費用を支給する移住支援金支給事業を実施した。

○連携市町村による移住・長期滞在推進事業

◇徳島市

- ・「徳島市移住交流支援センター」にて移住相談に應じるとともに、移住希望者向けパンフレットの配布や移住促進サイト・センター公式LINEなどを通して、情報発信を行った。
- ・地域産業の担い手確保のため、県外の人材を対象に保育や藍染・木工などの伝統産業への就労体験プログラムを実施する「ふるさとワーキングホリデー」に取り組んだ。
- ・実際に徳島市を訪れ魅力や暮らしを体感する「移住体験ツアー」を実施し移住検討者にアプローチするとともに、「移住者交流会」により移住者のコミュニティ形成を図った。

◇勝浦町

・リフォーム補助金

町内施工業者を活用した住宅のリフォーム工事経費の一部を補助金として交付。

補助額：工事費の2/3以内で上限30万円 実績見込33件、9,705千円

- ・勝浦町住まい応援事業

町内で住宅を新築、建替え、購入をする者に対し、住まい応援事業補助金を交付。

補助額：新築等費用の 1/10 以内で上限 100 万円。町内業者が施工の場合さらに 10 万円の加算。町内業者施工でさらに 18 歳未満の子と同居または 65 歳以上の高齢者と同居の場合さらに 10 万円の加算

実績見込 5 件、5,300 千円

- ・地方生活実現移住支援金

勝浦町に移住した者に対して補助金を交付する。令和 5 年度の実績見込み数 1 件

- ・移住相談関連

窓口にて直接相談や、ポータルサイトを通じた移住相談の受付件数 15 件（見込み）

勝浦町への移住者数（転入者数）80 人（見込み）

移住希望者に空き家バンクの利用者登録や「トライアルハウス坂本家」の利用を促進。

東京、大阪の移住フェアに参加。相談件数：東京 8 件 大阪 5 件

◇上勝町

- ・移住支援金支給事業

東京圏から移住者に対し移住に要する費用を支給。令和 5 年度は実績なし（見込み）

◇神山町

- ・空き家改修補助金

町内施工業者を活用した空き家改修工事経費の一部を補助金として交付。

補助額：工事費の 1/2 以内で上限 100 万円 実績見込 3 件、2,726 千円

- ・若者定住支援住宅新築等補助金

申請時年齢が満 40 才以下で、町内で住宅を新築、中古住宅取得・改修、用地購入する者に対し、補助金を交付。

補助額：新築等費用の 1/2 以内で上限 150 万円（町内業者施工の場合 50 万円加算）

用地購入は 3 分の 1、限度額は 50 万円。

実績見込 10 件、12,689 千円

■ その他

⑯ 情報システムの共同研究（1市6町）

事業名	情報システム共同研究事業				
連携市町村	徳島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して情報システムに関する課題や問題点などについて情報交換し、対応策について協議するとともに、今後の自治体クラウド導入に対するメリット・デメリット、各業務におけるその有効性等についての情報交換や研究を行う。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(令和2年度)	2回	目標値(令和7年度)	2回	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
		2回	2回	2回	
進捗状況	自治体DX推進に向けた各自治体での取組状況について、連携市町間で情報交換を行った。また、行政運営に関する研究会のオンライン研修に参加した。				進捗評価 A
今後の方向性	連携市町間の情報交換を継続するとともに、自治体DX推進に向けた取組事項等を進めるにあたり、必要な課題の洗い出しや、課題を解消するための対策等について連携市町間で調査・研究を行う。				
<p>【令和5年度の実績】</p> <p>○連携市町村において、自治体DX推進に向けたアンケート調査を行い、各自治体の取組状況について、情報共有を行った。</p> <p>○行政運営に関する研究会「行政手続オンライン化の推進」及び「オープンデータの活用推進」についてのオンライン研修に参加した。</p>					

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

■ 宣言中心市等における人材の育成

⑰ 圏域内市町村職員の人材育成（全市町村）

事業名	圏域内市町村職員人材育成事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域自治体職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村が連携して合同研修会を開催する。				
成果指標	研修会開催回数（年間）				
	当初値(令和2年度)	0回	目標値(令和7年度)	1回	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
		0回	1回	1回	
進捗状況	徳島市で「防災対策講演会」を実施し、6市町から8名の参加があった。				進捗評価
					B
今後の方向性	今後も圏域内市町村共通の課題である、防災対策にかかる合同研修を実施する。				

【令和5年度の取組実績】

- 「防災対策講演会」実施（令和5年7月21日、徳島市役所13大会議室）

参加者：6市町から8名

内容：本市の消防職員が講師となり、「トルコ共和国地震災害での国際消防救助隊の活動経験を通して」と題し講義を行ったほか、国内の被災地での活動体験や、職員の心構え等の講義を行った。

アンケート結果：「研修内容」「研修テーマ」における評価は、「満足」「概ね満足」との評価を得ている。

- 徳島大学上勝学舎支援事業

サイクルツーリズム事業として観光名所をE-BIKEで巡るモデルコースの検討やガイドの育成に取り組む。山間部特有のアップダウンの激しい道でも、老若男女問わず体験することができ、本町の観光ツールの拡大につなげていく。

大学生による魅力・課題調査や本町の小中学生による幸福度調査WSを開催し、地域への愛着心やSDGSの開発目標「住み続けられるまちづくり」について学びを深めた。地域への誇りと愛着を醸成するきっかけ、世代を超えたコミュニケーションの機会を得ることができた。

■ 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

⑩ 外部からの人材の確保（全市町村）

事業名	外部人材共同招へい事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	専門的な知識や経験、実績、新しい発想などに優れた外部の人材を共同招へいして活用することにより、地域資源の発掘、新たな産業振興や人材育成など、各連携分野で専門的見地から助言や支援を求め、圏域の活性化を図る。					
成果指標	外部人材活用件数（R3～R7 累計）					
	当初値(令和2年度)	活用の検討		目標値(令和7年度)	活用の検討	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6	R7
		0回	0回	0回		
進捗状況	連携市町村において外部人材の活用を検討したが、招へいには至らなかった。				進捗評価	
					C	
今後の方向性	他の圏域における先進事例を調査・研究し、新たな活用の検討を図る。					
<p>【令和5年度の実績】</p> <p>○連携市町村において圏域の活性化を図るため、外部人材の活用の検討を行った。 （招へいには至らず。）</p>						

■ その他

⑱ 圏域内市町村の行政運営機能の強化（全市町村）

事業名	行政運営に関する研究会開催事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	連携市町村で「行政運営に関する研究会」を開催し、自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究することにより、自治体運営機能の強化及び圏域自治体間の連携強化を図る。					
成果指標	研究会開催回数（年間）					
	当初値(令和2年度)	1回	目標値(令和7年度)	3回		
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6	R7
		1回	1回	2回		
	研究会参加自治体数（1回当たり）					
	当初値(令和2年度)	11市町村	目標値(令和7年度)	12市町村		
実績(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	
	12市町村	11市町村	9市町村			
進捗状況	今年度の研究会については、日程調整や参加の利便性を考慮し、専門の講師による、オンライン形式でのセミナーを2回実施した。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	引き続き、人材育成及び地方自治体をマネジメントしていく上で、共通課題として重要度の高いテーマを選定し、より多くの自治体に参加できるよう、圏域自治体及び担当課と連携して、研究会を開催する。					
<p>【令和5年度の取組実績】</p> <p>○専門の講師を招き、オンライン形式でセミナーを2回実施した。セミナーの内容は、圏域内市町村の共通課題から選定し、「行政運営のオンライン化」及び「オープンデータの活用推進」について学習した。（令和5年8月22日、令和5年8月23日開催）</p>						

⑳ 地域づくり活動の育成・支援（全市町村）

事業名	地域づくり活動団体等育成・支援事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	徳島市まちづくり協働プラザが圏域全体で NPO 等の団体や個人に対する育成・支援を行う。				
成果指標	地域づくり活動の参加者数（年間）				
	当初値(令和2年度)	42人	目標値(令和7年度)	1,000人	
	実績(年度)	R3	R4	R5(見込)	R6
		52人	1,307人	1,470人	
進捗状況	新型コロナウイルスの影響も落ち着き、圏域内からの多種多様な相談が寄せられるとともに、まちづくり協働プラザの活用も増えてきた。				進捗評価 A
今後の方向性	今後も講座や相談支援などを続けていく。				
<p>【令和5年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の市町村からアクセスしやすい徳島駅前のアミコビルにおいて、市民活動やまちづくり活動にかかわる人々の支援を行った。 ・地域づくり活動団体への相談支援については、圏域内の団体から多くの相談が寄せられ、様々な助言を行うことで、地域づくり活動の促進を図った。 ・広報誌では、圏域内の活動団体の活動内容を詳しく取り上げ、圏域内住民に対し広く情報発信をすることができた。 					

○ 圏域住民への普及啓発等（全市町村）

事業名	定住自立圏構想PR事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの推進にあたり、圏域市町村の住民等に対して、連携事業の取組状況や成果について計画的な広報活動を行う。 (形成協定に規定していないが、包括財政措置の対象経費として認められる取組である。)				
<p>【令和5年度の実績】</p> <p>○定住自立圏構想推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村のホームページを通じ、取組状況などを周知した。 					

